

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年12月27日（火）13時30分～14時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、
加藤原子力規制専門員
検査グループ 核燃料施設等監視部門
栗崎企画調査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 マネージャー 他2名
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他9名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 ガラス固化処理技術開発施設（TVF）における固化処理状況について
資料2 高放射性廃液を扱わない「高放射性廃液貯蔵場（HAW）及びガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟以外の施設」の火災防護対策の確認（プラントウォークダウン）のスケジュールについて
資料3 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	二重規制庁の加藤です。それでは本日の面談を始めさせていただきたいと思えます。早速ですが、事前にお配りいただきました資料に基づきまして原子炉機構の方からご説明をお願いいたします。
0:00:13	はい、小木曾横尾堀川です。それではまずガラス固化の進捗状況ということで資料1をもとに説明させていただきます2ページ目になります。
0:00:23	まずTBMの状況です。現在3号炉の更新に向けて解体作業を進めている状況です。
0:00:32	改定作業につきましては、3本3交代1から4班3交代に変更することで4%3交代体制として増員した解体作業員。
0:00:43	これはデータOJT現場による教育訓練を11月中旬より開示し、12月6日から4班3交替での作業を開始しております。
0:00:53	これまでに固化セル内で廃棄する予定でありましたウェス版スレーブアームITVカメラ軸等の切断収納済ませ、
0:01:03	解体装置、こちら機械式の切断装置ですね、こちらの方を使わなくなったものにつきまして今、切断しの作業に着手しているところでございます。
0:01:13	この改定処置の切断収納後は、残留ガラス除去装置、二期分ありますのでこちらの切断収納作業を行いまして大体こちらが令和5年6月ごろまで行うという計画で今進めております。
0:01:29	また原因調査につきましては、現在の運転データの調査残留ガラス除去作業の影響を確認するために、モックアップ試験棟にありますコールドモックアップ色をこちらの方の調査、
0:01:44	今行っている状況でしてこれらの調査結果を取りまとめて、減衰提起していくという予定です。元について現地調査につきましては、令和5年2月頃には一旦取りまとめて、05年11月ごろから、
0:02:00	予定しております3号溶融炉の大手のコールド試験ですね、模擬廃液を用いた、
0:02:06	3号の運転条件確認試験に反映していきたいというふうに考えています。
0:02:11	3号の製作状況につきましては、
0:02:14	こちらの方9月16日に格下げのモックアップ試験棟に搬入し、伊賀第2設置した後、天井部の築炉天板の溶接を終了し、現在行って付帯配管の取り付け、
0:02:31	こちらを令和5年1月末ごろに終了する予定としております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	その後 05 年 3 月ごろから、ガラスカレットもちへガラスの溶融性流下性を確認する試験を行い、製作を完了する予定としております。
0:02:49	3 ページ目、その後令和 5 年 11 月から 12 月ごろに白金族元素を介する模擬廃棄によって実際の運転を模擬した試験を行いまして、
0:03:02	炉底低温運転条件でありますとか流下時の炉底加熱条件、パッキング源泉抜き出し性ドレーン操作により、
0:03:09	これはガラスが抜き出せること等をいろいろ実際に運転するために必要な運転パラメーターの確認を行う計画としております。
0:03:17	ただ今回の原因調査の結果を踏まえ、白金族元素かいる模擬廃液を用いた試験において確認が必要な項目を明確にした上で、
0:03:25	3 号炉安定詰め条件設定を行うという考えで進めております。
0:03:30	4 ページ目以降はです 3 号の 11 月から 12 月ごろに行います運転条件確認試験の概要ということで資料を少し整理してまとめております。
0:03:40	4 ページ目の方です 3 号炉の 3 号炉こちらは、営業の運転解析コード等によって円錐の炉底形状においても、
0:03:50	2 号炉をこちら四角いの予定形状と同様の運転パターンによって白金族元素の沈降堆積抑制実績のある、炉底低温運転が適用できるということを確認しております。
0:04:03	ただ、予定形状円錐へ変更したということに伴いまして、3 号炉では主電極や補助提供の形状も若干変更しているということから、
0:04:13	実際に白金増減早福森排気を用いた運転条件確認試験において、
0:04:19	2 号炉の運転パラメータをもとに 3 号炉の運転パラメータを設計したいと、具体的にはこの運転確認条件試験においては、白金事業所屋内模擬廃液でまず 8 バッチ、
0:04:30	こちらの方で設定した運転パラメーターにより、白金増減を含む模擬廃棄 8 バッチを用いて、炉底運転や白金族元素の抜き出し性等について確認し、問題なく運転できることを確認とともに、どのようなところを観察により、
0:04:46	年間のかげは終わり堆積物の有無等を確認するということにしております。確認のポイントは以下の 3 件ということで、予定県運転が可能であることということで、
0:04:57	主電極の電力でありますとか、事務局の冷却器流量、こういうのを調整し、
0:05:02	言うガラスの温度等が夜の各温度の所定の目標値に制御されていることを確認すること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:09	②として、流下運転が可能であるということで、龍ヶ前野で加熱時における、
0:05:16	補助電極間連流及び自然流下ノズル関連理由、あとは流下開始におきましては、流下ノズルの温度調節、
0:05:26	黄色で前野を流下前の炉底開発時間、流下開始時における流下速度の立ち上がり時間、これ大体流下開始から流下速度が55をパーアワーに到達するまでの所要時間ということで、
0:05:38	これも2号炉の実績等を踏まえてこの時間が目標値に収まることを確認するというようにしております。
0:05:45	3番目としては白金族元素の抜き出し性の確認ということで010において設定した運転パラメータによりまして、白金族元素がガラスとともにd u n流下される、抜き出されることを、
0:05:57	李細粒化ガラスをサンプルを行いまして、そちらの分析を確認すると。
0:06:02	パターンの全量とレイアウトした後のない観察を行いまして、現在のかげ合わせ白金族を含む堆積物等を確認するというふうにしておりますし、
0:06:11	5ページ目、試験のフローということで、先ほど言いましたまずあので模擬廃液ってことで白金族を含まない模擬廃液で、
0:06:20	炉底低温運転状況の確認でありますとか、いうガラスの流下状況の確認等を行うと。
0:06:26	こちらの方で設計した運転パラメーターにおいて、2、2歩通航模擬廃液ってことで白金族含む廃液において、
0:06:35	はっきりとはガラスの抜き出し性等を確認すると。
0:06:38	こちら88兆ありましたら最後を全量抜き出し度レイアウトを行いまして、プラン操作によって、
0:06:46	流下状態異常な黒いと言うガラスが抜き出せることを確認すると。最後を終わりましたら大観察ということで、構造物の表面の残留ガラスmと確認するというような試験を考えております。
0:07:00	6ページ目、こちらは2号炉3号炉の比較ということで12ということで2号炉はスパーク水の炉底形状を対して3号炉は円錐の径形状と
0:07:11	こちらの方の温度解析ですねした結果ということで、こちらの許認可の申請等にも記載はしているものですが、
0:07:21	また二部、四角左側の四角水緑部分ですね、温度低い部分があるところに対して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:28	右側の製することで、ほぼ全体的な均等な位置付けになってるということで、
0:07:35	スタッフよりも、抜き出し性こういうような温度のバランスが悪くなってる所がなくなるということで、四角い45度より円錐の方が濡れ性への向上を期待できるというような形で、
0:07:46	このような解析結果を用いながら運転状況の確認試験を行っていきたいというふうに考えています。
0:07:53	最後7ページ目、聖子。
0:07:55	こちらの、今モックアップ試験等に置いております溶融炉での作動性と運転条件確認試験等についてですが、
0:08:03	実際にその廃液を染み込ませたカートリッジこれを、一通りなりますが、医療の方に、定検に投入していくという、いう形で、
0:08:13	その下の方に流下ガラスが流下時出てきますそちらを定期的に作業員がサンプリングして、白金族濃度等の分析を行って、
0:08:25	金属の抜き出し性等を確認していくということ、あとはその下ありますように運転のパラメーターですね、監視制御、
0:08:34	あと5月系の処理等も行いまして実際の運転と同様の条件で運転できることを確認するというような試験を行っていくということでございます。
0:08:44	説明は以上となります。
0:08:46	店長規制庁のカトウでご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして確認事項コメント等ありましたら、規制庁の方からお願いいたします。
0:09:04	すみません、原子力所長の加藤ですけれども、少し確認させていただきたいことがありましてまず1点目なんですけど3号溶融炉の運転条件確認試験の概要ということで別紙つけていただいているんですけども、
0:09:17	最初のところで、白金族元素の沈降堆積の抑制に実績のある炉底低温運転が適用できることを確認しているっていうふうになってるんですけども、
0:09:27	これってのはどういうふうに確認をしたのかっていうのを教えていただけますでしょうか。
0:09:33	はい。工業者、こちらにつきましては夜の運転の解析コードですね、こちらの方で2号炉の解析で炉底低温運転ということでどの層厚の温度が制御できること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:50	あと上の温度分布ですね、こちらと同じようなことが3号炉の水系の形状でも、解析コード上でその温度分布が適用できるということを、一応、解析コードで今日確認してるということになります。
0:10:05	原子炉規制庁加藤です解析コードで確認している旨理解いたしました。
0:10:09	あとすみません野木廃液の衛藤調整についてと詳しくお伺いしたいんですけれども、さっき茂木はい液位を調整するにあたって、
0:10:21	ところちょっとどういうふう調整してるのかっていうのを具体的に教えていただきたいと思ってるんですけれども。
0:10:28	これは実際のその配液位を何かサンプリングするなりして、江藤茂木排液っていうのを調整しているのか、その辺についてちょっと教えていただければと思います。
0:10:42	はい。現職のこちらにつきましては標準的な組成ですね、再処理で出た使用済み燃料をの、
0:10:53	恒設廃液の成分が標準的な組成を模擬した試薬ベースで廃液を作っております。越冬野木排気は白金族を含まないもので比木排気がそれに白金族を含んだ廃液という形で、
0:11:12	模擬廃液を基本的に、実際の実廃棄と同様の組成ですね、標準的な組成を模擬してるという形になります。
0:11:22	規制庁カトウですけれども標準組成っていうのは、どういうふうに出してるんですか。
0:11:31	これはですね、現職、これは標準的なその燃料組成ですねそれから李元とまわして、それでナカノ成分を算出してそれに基づいて標準的な組成という形で
0:11:47	計算上導き出したもので、それを標準組成という形で、それに応じた廃棄を作っているという形になります。
0:11:57	規制庁加藤ですけれども再処理する燃料を基にしたマーケ計算上を求めた標準組成ということで理解いたしました。
0:12:11	すみませんモリカワで、実際にですね、その組成と、今実際にその廃液の組成ですね、体験成立実際の運転時サンプリングしてますので、ほぼ大体その
0:12:22	範囲には入ってきてる。多少各月によって少しばらつきがあったとしても大体その基本的な標準組成の範囲に入ってますので、ほぼほぼ同じようなもので試験をしているという位置付けかと思っております。
0:12:37	規制庁からです理解いたしました。ちなみにこれは2、2号機の時も同じような形でやってるっていうことでよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:46	崎山もそうです 2号機の時もそういうような模擬廃液を使った試験をやっております同じような感じで3号の模擬廃棄試験を行うという形で考えております。
0:12:57	規制庁加藤です承知いたしました。
0:13:02	今家族の質問のところは少し細かめに資料に落とした方がいいと思いますよ。
0:13:10	はい、承知しましたよね。はい。浦崎漆谷が1名いるので、
0:13:20	要は、
0:13:22	前回と同様に、実廃液を設定しても範囲の設定にあたっては、
0:13:30	最初2の分析値とオリゲンとまわして、最適最適なその廃液を、を使用しているというような頭でまとめてくれた方がいいと思います。
0:13:44	はい。そうしましたコメントを踏まえてそうですね。実際ちゃんと動きできてるものを使ってるっていうことがわかるような形で少し追記したいと思います。
0:13:59	規制庁加藤です。どうぞどうぞ。
0:14:05	小熊。
0:14:06	それである8バッチの根拠ね、これも多分ないんでしょうけど、初罰やれば十分なんですってというような説明ができるかどうか。
0:14:18	これも少し検討してもらえませんか。バッチ数が多ければ多い方がいいような気がするんですけども。
0:14:24	圧バッチもやれば十分なんですってという説明を、
0:14:28	をするのが一番多分理想的だと思うんですよね。
0:14:33	それも少し資料の中に盛り込むようにお願いします。
0:14:37	はい減少項目は承知しました。ちょっとそこら辺もあわせて追記したいと思います。
0:14:50	カトウですすみません衛藤。
0:14:53	前に戻ってしまうんですが、ガラスカレットを用いた動作試験を3月末か3月ごろからやると思うんですけど、これって大体いつごろまでを予定しているのかっていうのを教えていただけますでしょうか。
0:15:07	はい、現状これ3月末までですね、3月末までに3バッチだけ3本、三本分だけですので、実際その金取って実際にそのガラスが溶融できることを流下できることって基本的なガラスの
0:15:26	スイセ製品としての家検査として実施すると日付で3月中には終わる予定です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:35	ですね3月中に終わって終わった後っていうのは、もうしばらく模擬廃棄の政策までは、特に3号溶融炉で何かやるってことはないってことですか。
0:15:48	はい。業者としてですね3月中総会の試験終わって次はその模擬廃棄を使った試験に向けて、試験の計画等を立てていくという形になります。
0:16:03	軽重カトウです承知いたしました。
0:16:10	栗崎さんどうぞ。
0:16:19	栗崎さん、お願いします。
0:16:35	規制庁加藤ですけれども。
0:16:38	栗崎さん大丈夫ですかなんか挙手挙手をされてたようなんですが、
0:17:05	は、カトウでした規制庁カトウですけれども、
0:17:10	あ、そうですか。わかりました。もしあれでしたら、チャットとかで、書いていただければ、
0:17:18	と思うんですけれども。
0:17:55	規制庁加藤ですけれども、現時点で、
0:18:01	工程は順調稼動順調に進んでいるのかどうかということについて確認をしたということなんですけど、現状機構の方からいかがでしょうか。
0:18:09	はい工程の方は順調に進んでおります3号炉の方の、
0:18:15	政策も一応計画通り進んでおまして3月ごろから回答を用いた試験ができるということ。解体の方につきましても、もう少し交代勤務開始等が若干ちょっと遅れてスタートはしましたが順調に解体の方は、
0:18:34	積んでおりますので、残留から除去装置の汚染、切断収納ですね、大体この計画通り令和5年6月ごろまでに終了する見込みということで、
0:18:45	少し工程を組みかえはしつつも、もうこれは計画通り進んでいるという状況でございます。以上です。
0:18:55	はい。ありがとうございます。規制庁加藤ですありがとうございます。引き続き安全に作業を進めていただければと思いますよろしく願いいたします。
0:19:05	規制庁側から何かありますでしょうか。
0:19:14	私はありません。はい。植野さんよろしいですか。
0:19:21	はい徳田大丈夫です。はい。ありがとうございます。そうしましたらじゃ次、工程洗浄の進捗状況についてご説明お願いします。
0:19:34	はい松下の仲村です。それでは工程制御の状況について5点、口頭でご報告いたします。まず3点、ご報告いたします。まず一つ目は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:46	ハード対応の方ですけれども、現場の設備研究の方ですけれども、残っていた浜野大橋節のサンプリングラインにつきましては、電磁弁交換を行いまして、12月16日には、
0:19:57	その動作確認を行いまして、対象264機すべて問題のないことを確認し、終了しております。
0:20:04	二つ目ですけれども、ソフト対応ですけれども経営権案件であった計量及び査察ポイントのJ S 授与 I A E A との合意につきましては、先週12月20日に、3社の技術会議を行い、了解終えております。
0:20:18	今後、2月初めの核物質の実力調査、いわゆる我々のp i t となります。それと実在庫協議、P I 分が終わった後に、2月中旬頃には、計量ポイントの総校正を行いまして、
0:20:33	すぐ行いますまた、工程洗浄に係る計量管理規定、計量ポイントポイントを変更いたしますのでその変更を行います。それを当社基礎整備を行いまして、3月上旬。
0:20:43	室をめどに認可をいただきまして、その後をプルトニウムと大臣に着手する予定となっております。
0:20:49	これにつきましては、1月の面談でスケジュールを締結提示したいと思っております。
0:20:55	そうなりますけれども、3月のプルトニウム取出し開始までの間、現場作業の習熟度向上のための再組みを適宜行います。また、ウランの取出しに係る設備点検を並行して実施したいと考えております。
0:21:09	報告は以上となります。
0:21:12	減少規制庁の方でご説明ありがとうございました。今のところ工程は、引き続き順調にいったるという理解でよろしいですか。
0:21:21	はい。付けるのは若干遅れておりますけれども平均として
0:21:27	順調に進んでおります。
0:21:29	計上カトウですけれどもスケジュールが遅れているというのは査察の関係がクリティカルになってそれが遅れてるってということですかね。
0:21:38	廃止措置計画に示した全体工程が遅れておりますけれども、ただ最終の令和5年度までの取り出しを含めておくらせるという全体スケジュールとしては、
0:21:48	ば問題ないと考えております。
0:21:51	規制庁古藤ですそういうことで理解いたしました。はい。ありがとうございます。
0:21:56	規制庁から何かありますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:05	そうです私はありません。
0:22:08	はい。ありがとうございますそれでは、特にないようですので、じゃあ次資料の2のご説明をお願いします。
0:22:16	はい。資料の方推進した通りご説明させていただきます。
0:22:22	こちらの資料先般の12月15日の監視チームでとか貼るTVF以外の施設の火災防護対策の確認の方針について説明した際に、
0:22:34	しっかり現状確認現状確認することというコメントと、あとスケジュールについても示していただきたいというようなコメントがありましてご用意した資料でございます。
0:22:48	8ページの方ですが、高放射性廃液を使わない範囲及びTVF以外の施設の火災防護対策の確認のスケジュールについてということで、
0:23:00	一つ目の方はTVF以外の、
0:23:04	施設で、それが放射性物質を貯蔵保管する、メンブラ等の施設、
0:23:10	これらその他の施設と合わせていただきましたこれらにおいて、プラントを行うに基づき実施する火災防護対策の確認のスケジュールというものを下の方の方に示してございます。
0:23:23	大きく20年後、後5施設ございますがこちらの方が、五つ大きく分類してそれぞれ1月から来年の3月末までかけて、調査の方を行っていく。
0:23:38	それぞれの調査の結果につきましては2月以降、適宜現場の方で調整、説明させていただこうと考えております。
0:23:48	二つ目の方にありますように進捗状況については面談等でご説明するとともに、
0:23:54	取りまとめた結果につきましては、4月以降に能勢チームで報告したいと考えてございます。
0:24:03	確認の結果につきまして統制率として使うべきその他施設の消火設備等を明らかにした上で性能維持施設の追加に係る変更認可申請を行っていきたいと考えております。
0:24:18	その辺簡単ですが以上です。
0:24:21	慶長カトウです。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、質問コメント等、規制庁わかりましたをお願いします。
0:24:32	植野です。
0:24:36	カトウ
0:24:38	のウォークダウンを行う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:41	メンバーというのは、この施設担当の方なのかそれとも何か専門チームを作って対応されるのかその辺について教えてください。
0:24:53	はい瀬下内です。調査に当たりますとは、現場担当の人間と、我々推進室のメンバーで、チーム、チームというか、セットで、現場の方回ることを予定してございます。
0:25:11	はいわかりました。
0:25:17	そこら辺も資料に盛り込んでいた方がいいと思いますね。
0:25:23	田淵です。了解しました。
0:25:40	規制庁加藤ですけれども他質問等ありますでしょうか。
0:25:49	ボスありません。
0:25:55	はい、じゃあよろしければ、最後、スケジュールのご説明をお願いします。
0:26:01	原子力機構のインダからスケジュールをご説明させていただきますページになります。
0:26:08	実際の問題につきましては年明けの時代に 10 ということで 11 日の水曜日をお願いしたいと考えております。次回の監視委員会後 24 日にセットされると言うておりますので、それに向けて
0:26:26	11 日、それからその次の週ですね 18 日にも面談をお願いしたいと考えておりますので、今回は通常期の 1 月 11 日をお願いしたいと考えております以上です。
0:26:39	規制庁カトウですスケジュール承知いたしましたスケジュールの具体的な時間については、藤担当として調整させていただければと思います。
0:26:49	一応次回の会合が 11、1 月の 24 日を予定しておりますちょっとインターバルが若干短くなっていますので、できればちょっと資料の方は
0:27:01	早めにいただくと大変ありがたいんですが、いつごろお出しただけそうでしょうか。
0:27:11	徳丸河津衛藤。
0:27:13	規模の資料につきまし一応 11 日の日には一旦、会合の資料ということで、
0:27:21	まずガラスの進捗等、3 号炉の更新判断についてのそので定量的な評価、
0:27:29	これ前回コメントありました 2 号 3 号炉更新に向けたリスク関係ですねそちらの方の抽出した結果、
0:27:41	基本にあとはその現地調査のところにつきましては少し進捗状況を踏まえた形で記載できればという形で、一応案として 11 日。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:53	その臨時の面談を踏まえて18日に再度もう1回という形で今スケジュール的には考えております。以上です。
0:28:01	金城カトウです承知いたしました。よろしくお願いいたします。
0:28:07	あとですねちょっと別途、
0:28:12	星さんの方には電話でお伝えさせていただいているんですけども次回の会合のときにですねこれまでちょっと何度かお話をさせていただきました設備の保全の合理化の話ですね。
0:28:26	ご説明いただきたいと思っておりますので、もう資料あらかた面談で提出いただいたもので結構だと思いますので、ご説明の方お願いいたします。
0:28:41	推進した部長、衛藤。
0:28:43	11日の面談の方で改めて出させていただきますが何かコメント等あればメール等でご連絡いただければ対応いたします。
0:28:52	規制庁加藤ですけれども、コメントはもうこれまで面談で出させていただきましたもの。
0:29:00	もう、多分こちらからいいと思いますがもし何かあればご連絡させていただきます。
0:29:10	他規制庁から何かありますか。
0:29:17	ほとんどです特にありません。
0:29:23	よろしければ、衛藤最後に原子力機構の方から何かありますでしょうか。
0:29:33	原則公表です向こう側からも特にございません。
0:29:37	はい。そうしましたらじゃこれで面談は終了にしたいと思いますどうぞもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。